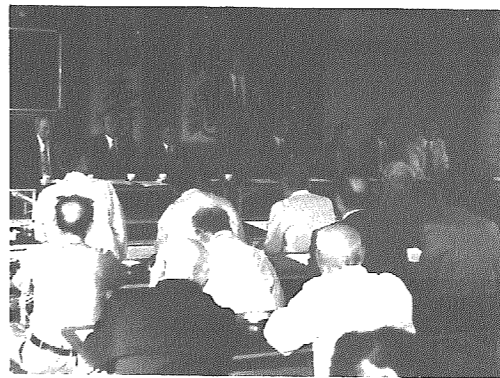


「新しい横越づくり」のための施策

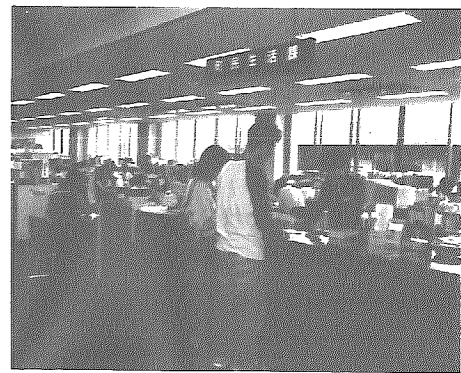
活力と魅力ある「新しい横越づくり」のためには、住民が「よこし」に愛着を持つことが不可欠であり、「新しい横越づくり」は住民と行政とが一体となって取り組んでいくことが重要です。このため、住民参加のまちづくりの推進を中心としながら、広報広聴活動の拡充、行政体制の整備、広域連携の推進、財政運営の充実を図っていきます。

(1) 住民参加によるまちづくりの推進

まちづくりにおいては、単に行政だけでなく、住民と行政が、自らの地域は自らが築くという意識で相互に理解し、協力し合



いながら地域活動を行っていく必要があります。当町では、他からの転入者が増加してきており、今後は、生活の場と仕事の場の分離によって日中は不在の住民が増加するとみられることから、住民と地域活動との関係が、従来の農村社会的な関係から大きく変化していくと予想されます。こうした変化を踏まえ、当町のまちづくりは、祭り等の伝統行事を核とした地域活動や、従来からの様々な文化・スポーツ活動等を尊重していくと同時に、ボランティア活動の振興など、住民と地域活動との新しい関係の構築に努めます。また、住民の地域活動が、親睦や交流だけで終わるのではなく、地域の課題を解決していく活動に発展さ



せていくよう、取り組みを進めていきます。

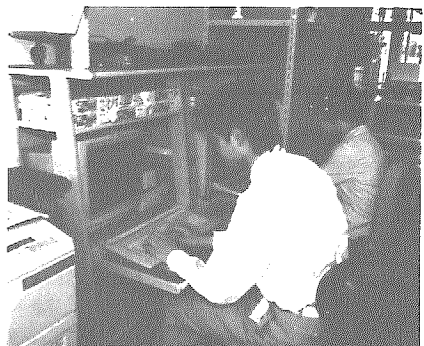
こうした住民参加の地域活動では、「人づくり」が最も重要であることから、行政は、住民がまちづくりに積極的に参加できる気運の醸成と、まちづくりの核となるリーダーや団体を育成していくこと、住民の地域活動が継続できるように様々な支援を行うことなどで、これからの当町を担っていく人材の育成に努めます。

(2) 広報広聴活動の拡充

情報化社会といわれ、情報の重要性が指摘される中で、住民は行政情報の公開に対して関心を高めています。このため、当町は行政の広報活動を拡充し、プライバシー保護との調和の中で行政情報の公

開の推進や広報誌の拡充等で、住民に様々な行政情報や地域の課題を提示し、行政運営を図っていきます。

団体役員や区長等を通じた要望の把握だけでなく、青年層や女性層を含めた幅広い住民層からの要望を把握できるように公聴体制を整備していきます。このように、広報広聴活動によって、様々な行政情報や地域の課題を住民に提示しながら、それらに対する住民の要望を吸い上げ、また、多様な住民ニーズを的確に把握し、それを今後の行政運営に反映させていくというように、住民との対話を重ねながら行政運営を行うと同時に、広報広聴活動を通じて、住民にまちづくりの地域活動への参加をうながしていきます。



(3) 行政体制の整備

当町では、住民の行政に対するニーズが多様化していることや、地方分権の流れの中で市町村への業務権限の移管等が増えることなどから、行政の事務事業が高度化、複雑化していくものとみられています。当町は、公平性、透明性の確立を図るため、行政手続条例に対応した制度の確立や情報公開制度の確立、また、住民ニーズの変化や行政需要の増大に対応

当町では、今後、高齢者の増加や若い家族層を中心とした転入者の増加が見込まれています。このため、財政需要面では、高齢者向けサービスの拡充が必要となるほか、学校や公園などの様々な公共施設の改築需要、建設需要が顕在化し、また、市街地の拡大に伴う都市基盤の整備や農業情勢の変化に対応した農業基盤の整備などの需要も見込まれます。

同時に、マルチメディア等の情報技術を活用することで、行政事務の効率化を図っていくことや窓口サービス業務等で住民の利便性の向上に努めます。こうした行政体制は職員によって支えられることから、職員の自己啓発の推進や研修体制の充実、他自治体職員との交流機会の拡大等によって、職員の資質向上を図ります。

横越町消防団一七〇名参加 万一に備え、演習に励む

十月十一日、横越小学校グラウンドで、およそ一七〇名の消防団員が参加し、新潟南警察署長、亀田町消防長、町会議員や代表区長等の来賓が見守る中、横越町消防団秋季合同演習が行なわれました。

はじめに田村団長が「今年の水害では、みなさんの努力で被害を最小限に食い止めることができました。今後は災害のない町になるよう努力して下さい」と訓示。浅見町長から「住民の生命と財産を守るために尽力しているみなさんに敬意を表します。安心して暮らせる町になるよう、みなさんの努力に期待します」とあいさつがあったのちに続き、閲団、姿勢服装点検、ポンプ操作訓練が行なわれ、団員



たちは、今年八月四日の水害に対処したときのような実践さながらのきびきびとした行動で演習に励みました。また、消防自動車、各分団の積載車、救急車などが町内をパレードし、火災予防を呼びかけました。

また、次の方々に永年勤続等の表彰の伝達が行なわれました。

◎表彰

・新潟県知事表彰
功績章

副団長 田村 清一
勤続章(二十年勤続)

第二分団 井口 広一

功績章
副団長 田村 清一

勤続章(勤続十年以上)
第二分団 井口 広一

第一分団 桜井 豊

第一分団 本間 徳和

第二分団 諸橋 俊晴

第二分団 田中 実

第二分団 伊藤 健一

第二分団 野瀬山 正

第二分団 市村 伸行

第二分団 杉本 尚

第二分団 熊倉 敏光

(4) 広域連携の推進

効果的な行政投資を行い、住民の満足度を高めていくためには、周辺市町村との施設の共同整備や相互交流の促進など、広域的な視点で行政の事務事業に取り組み必要性が増しています。特に、当町は新潟都市圏が発展・拡大していく過程で重要な役割を担っていくとみられるため、新潟市や亀田町などの周辺市町村と協力して共同事業を拡充していく必要があります。

こうした広域連携を効果的に推進するために、当町は、周辺

第二分団 伊藤 進

第三分団 宮嶋 俊昭

第三分団 遠藤 雅和

第三分団 横野 豊吉

第三分団 遠藤 良一

第三分団 渡辺 周司

第三分団 羽賀 進

第四分団 大竹 進

第五分団 谷井 一弘

第六分団 小林 稔

第六分団 串田 貞幸

・新潟県消防協会三市中蒲原地
区支会表彰

精勤章

第二分団 佐藤 昭

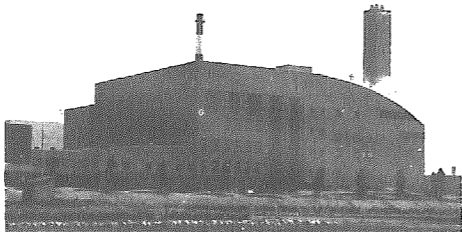
第三分団 小田 一栄

第四分団 古沢 一郎

第六分団 皆川 義和

(5) 財政運営の充実

市町村と協調しながら、事務組合事業や事務委託の拡充を図っていきます。また、新潟都市圏の広域市町村圏事業や共同事業を推進していくとともに、周辺市町村と連携して国に機関委任事務の見直しや権限、財源の委譲を求めています。



一方、財政構造は、最近の公債比率や経常収支比率等を見ると、硬直化の兆しがかがわれています。

こうした中で、適正な財政運営を行っていくには、最少の経費で最大の効果をあげるという財政の基本理念に立ち返って、経営経費の削減に努める必要があります。

また、財源の安定確保に向けて、住民の納税意識の高揚や産業の振興を図る必要があるほか、手数料等の受益者負担の適正化を推進していきます。さらに、国庫支出金や県支出金等の積極的な取り込みを図っていくとともに、公債の発行抑制などで将来の財政負担の軽減に努めます。同時に、効果的な財政運営に向けて、住民の理解と協力により施策の優先順位を定め、長期的な財政運営を見通しながら予算編成と財政執行を行い、また、年度間の財源の不均衡の調整や計画的な公共投資の実施を目指すなど、財政運営の健全化を一段と推進します。

四月号より連載してきました「横越町第四次総合計画基本構想」は、今回で終了しました。